



旭川市立神居東小学校 学校だより

ぬくもり

旭川市神居1条17丁目 Tel 62-2932

令和3年2月26日発行 第11号

子どもたちの成長を感じて

校長 澤田 匡史

2月が終わり来週から弥生3月、いよいよ春の便りが聞かれる季節となりました。3月に入ると、6年生は卒業式に向けた取組が本格化します。卒業する6年生一人一人から、残された17日間を精一杯生活しようという意気込みが伝わってきます。6年生はコロナ渦であっても、この1年「学校の顔」として、在校生の良い手本として頑張ってきました。その6年生を東っ子全員で祝福できる卒業式になればと思っています。

全校の子どもたちの様子を見てみると、どの子も年度当初と比べ、大きく成長しました。ご家庭でも親子で成長を確かめ合い、良くなったところは認め、共に喜んでいただければと思います。そして、今は目に見えるような結果が出ていなくても頑張っていることは、大いに褒めていただけると幸いです。それが子どもたちを成長させる一番のポイントだと思います。

令和3年度へ向けて ～本校の子どもの実態と学校運営の方向性～

さて、昨年12月に多くの保護者の方々に本校の教育に関する「保護者アンケート」にご回答いただきました。ご多用の中、誠にありがとうございました。

保護者アンケートや児童アンケート、教職員による自己評価の結果をもとに、令和3年度の学校運営方針について検討を進めてまいりました。次年度の改善の方向性がまとまり、より良い神居東小学校を目指すための計画の土台ができあがりました。これも、保護者の皆様のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

<本校の子どもの実態と運営の方向性>

【確かな学力の面】

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対話を制限した活動が多かったことなどから、子どもたちの表現力やコミュニケーション能力が伸び悩んだことが明らかになりました。今後、進んで表現させる力を育成するために、子どもたちに明確な目標や見通しをもたせ、主体性を育むとともに、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させることを重視します。

○子どもの主体性を高める働きかけに力を注いできましたが、個人差が大きいので、継続して指導します。

【豊かな人間性の面】

○子どもたちが、自ら進んで挨拶することに課題が残りました。子ども自身が進んで挨拶することが「当たり前」と思えるよう指導を継続します。

○学校が楽しいと感じている子どもが多数います。今後も、子どもたちに達成感や成就感を味わわせ、自己有用感を高めていきます。

○委員会活動、学校行事での子どもたちの成長に大きな成果が見られました。友達と協力して活動したり、仲間のために活動したりしたことが要因だと考えます。今後も、特別活動はもちろん、様々な場面で仲間と協力する活動を設定します。

【健やかな体の面】

○進んで運動に励むと自己評価している子どもが多数います。今後も体力向上の取組を継続し、子どもたちの意欲を持続させます。

○生活習慣に問題を抱える子どもや、長時間テレビゲームをしたり動画を視聴したりしている子どもがいます。SNSによる問題も発生しているため、スマホの使い方やアウトメディアについて家庭と連携した取組を推進します。

○自分の命は自分で守る意識が高い子どもが多数います。今後も継続して安全指導や防災教育に力を注いでいきます。

各種評価結果については、裏面をご覧ください。

令和2年度 学校評価 教職員・保護者・児童による三者アンケート結果

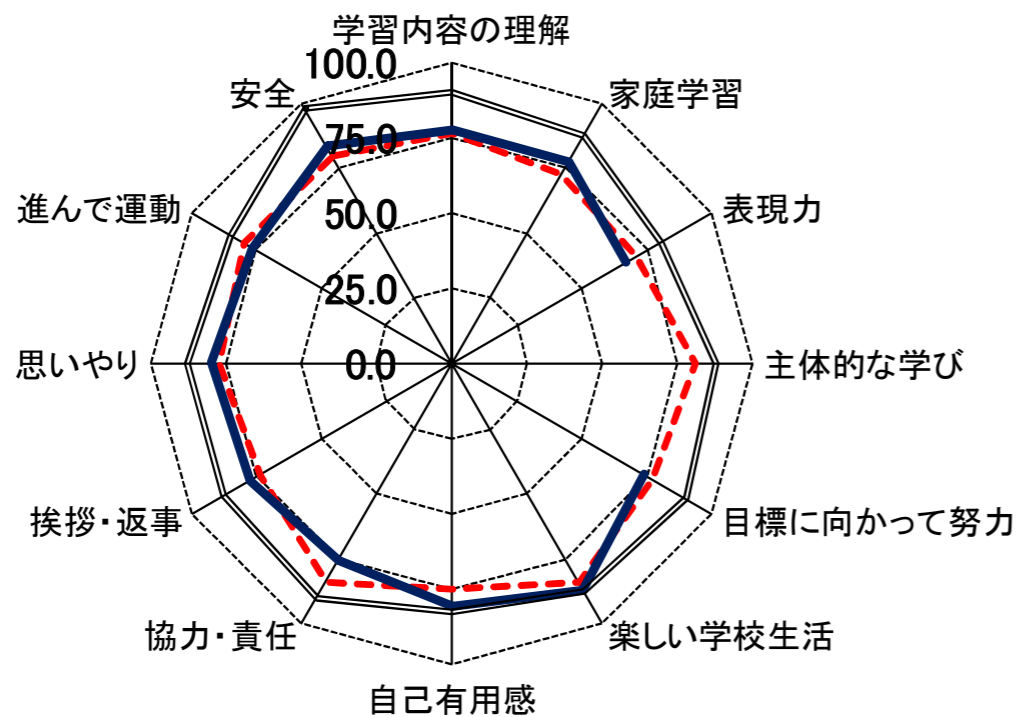
さて、標記の件について、以下のとおり結果をお知らせいたします。

	教職員達成率	保護者達成率	児童達成率
学習内容の理解	76.1 %	77.6 %	90.0 %
家庭学習	72.7 %	77.2 %	87.5 %
表現力	70.5 %	67.1 %	80.0 %
主体的な学び	80.7 %		87.5 %
目標に向かって努力	77.3 %	74.2 %	90.0 %
楽しい学校生活	84.1 %	87.2 %	87.5 %
自己有用感	75.0 %	80.8 %	82.5 %
協力・責任	84.1 %	75.7 %	90.0 %
挨拶・返事	73.9 %	77.5 %	87.5 %
思いやり	77.3 %	79.7 %	87.5 %
進んで運動	79.5 %	76.1 %	85.0 %
安全	79.5 %	83.1 %	97.5 %

* 達成率…各項目ごとの平均値が、評価4を100としたとき、どのくらいの割合となっているかを表したものです。

* 網掛けは達成率80%以上の項目です。

令和2年度 学校評価集計(教職員・保護者・児童比較)レーダーチャート
 <教育目標の達成状況>



--- 教職員達成率 — 保護者達成率 — 児童達成率

【教職員・保護者・児童による三者アンケートの考察】

- 「楽しい学校生活」の評価項目で、教職員、保護者、児童の三者全てが達成率80%以上となっており、三者ともに子どもたちが楽しく学校生活を送っていると感じています。
 →今後も学校が楽しいと感じられるよう、共感し合える学級風土を築くとともに、どの子どもも分かる授業を目指していきます。また、「楽しくない」と感じている子どもには、学校や学級が心地よく過ごせる居場所となるよう、個別に面談を行い、働き掛けを行っていきます。
- 学習面にかかわる「学習内容の理解」「家庭学習」「表現力」の評価項目では、児童は高い達成率を示しており、十分できていると感じていますが、教職員、保護者はもう少し頑張ってもらいたいと感じています。
 →子どもたちが分かる授業に努めるとともに、「表現力」を学習や特別活動など様々な場で育成していきます。また、家庭学習については、「家庭学習の手引」をもとに、保護者の皆様にもご協力いただきながら推進していきます。
- 「目標に向かって努力」の評価項目についても、児童は高い達成率を示しており、十分できていると感じていますが、教職員、保護者はもう少し頑張ってもらいたいと感じています。その一方で、「主体的な学び(主体性)」は教職員、児童ともに達成率が高く(保護者アンケートには、この評価項目がありません)、進んで学習や学校行事などに取り組んでいると感じています。
 →なりたい自分(目標)を思い描き、積極的に挑戦する子どもの姿を目指し、「主体的な学び(主体性)」を全教育活動で育成していくとともに、あきらめずにねばり強くやり抜く力を育てていきます。
- 「挨拶・返事」「思いやり」の評価項目も、児童と比較し、教職員・保護者の達成率が低くなっています。
 →これまでも、重点を設けながら挨拶や返事についての指導を行ってまいりましたが、今後も継続した指導を行っていきます。ご家庭でも挨拶の習慣化のご協力をお願いいたします。また、「思いやり」を含めた豊かな心を育成するため、道徳科の学習の充実を図り、全ての教育活動で豊かな心の育成を目指していきます。
- 「進んで運動」の評価項目についても、児童と比較し、教職員・保護者の達成率が低くなっています。
 →「進んで運動」については、運動することの意義やよさを伝えるとともに、運動を通して「なりたい自分」を思い描き、その姿を目標に進んで体力づくり運動を行うよう働き掛けていきます。

■学校評価会議より～「児童が学校や家庭で明るく、健やかに過ごせるよう、よりよい生活習慣を確立する取組を保護者と連携を図って行っていく必要がある～

→生活習慣の乱れは、学習への影響が大きいだけでなく、心身のよりよい発達に影響を与えます。特にメディア(テレビ、ゲーム、パソコン、インターネット、スマートフォン、携帯電話など)の制限のない使用が、生活習慣の乱れにつながっていることが多く、全国的に依存傾向を示す子どもが増えてきているとも言われています。そこで、子どもたちの生活の基本となる「早寝・早起き・朝ごはん」の取組やスマートフォン等の使用についての家庭内でのルール作り、またアウトメディア(メディアを使わない時間をもつこと)の取組について、各ご家庭へ啓発していくとともに、連携して取組を進めていきます。

【保護者アンケート自由記述より(抜粋)】

- 児童が何事にも挑戦する事を恐れないよう、失敗する事を恐れないようご指導いただきたいと思います。
 →子ども自身が、未来の「なりたい自分」を思い描き、その実現に向けて、どんな困難にもへこたれずに挑戦し続けることはとても大切なことです。本校でも、キャリア教育を核に、全教育活動で自分の目標に向かって、ねばり強く取り組んでいく子どもを育成していきます。
- 平日に行事が続くと簡単に休みを取る事ができないし、立て続けとなると職場での立場もあるのでやめてほしい。
 →新型コロナウイルス感染症予防のため、一堂に会しての行事を行えなかったこともあり、分散して平日に行うこととなりました。お仕事等の都合もあり、大変ご迷惑をおかけしています。次年度も、行事を行う際は、新型コロナウイルス感染症への予防対策を取った上で実施することになります。可能な限り休日に行っていた行事については、平日に行わないよう実施していきたいと思っています。しかし、感染状況により、やむを得ず平日開催になった際は、ご理解いただきますようお願いいたします。
- 毎日やる宿題として、続けることで記憶の定着(漢字の練習やローマ字の練習)を図れるような宿題がでるといいなと思います。
 →継続した反復学習は、記憶の定着にとっても有効です。次年度も、学力の確かな定着に向け、宿題や家庭学習の取組を進めていきます。また、次年度よりGIGAスクール構想のもと、学校ではタブレット端末を使い、eライブラリーに取り組む学習活動も増えてきます。ご家庭の端末でもeライブラリーを使用できますので、積極的にご活用ください。
- インフルエンザが広まるようなことはないことを願います。
 →インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が広がらないよう、今後も感染予防を心掛けて日々の学習活動を行っていきます。
- こんな時期なので子どもには持たせているのですが消毒液を教室などに置いてほしいです。
 →学校で使用している消毒液は主にアルコールとなっています。アルコールへの過敏症もあるため、学校では、手洗いを中心に手指の消毒を行っています。ご理解いただきますようお願いいたします。